Pixio

UserManual

取扱説明書

モニターアーム
（シングル）

PSW1S

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書（以下本書）には、本製品を正しくお使いいただくための説明と、事故を防ぐための重要な注意事項が示されています。本書をよくお読みいただいたうえで本製品をお取り扱いください。お読みになった後は、いつでも取り出して読める場所に大切に保管してください。

製品は写真やイメージと異なる場合があります。製品仕様の変更に伴い、本書も予告なく変更する場合があります。

お願い

本製品が入っていた箱や緩衝材（発泡スチロールなど）は、製品保証などの際の返送にご使用いただくため捨てずに保管してください。

Copyright © 2019 PNS HOLDINGS INC.
Pixio is a registered trademark of PNS Holdings Inc. All Rights Reserved.
Use or reproduction of this manual in parts or entirety without the authorization of PNS Holdings Inc is prohibited.
All other trademarks are owned by their respective owners.

目次

4. 安全のために

8. 設置・取り付け前のご注意

9. 準備する

11. 組み立てと設置をする

54. 困ったときは

60. 仕様

62. 参考資料

安全のために

警告表示の意味

本書では、特に注意していただきたいことについて、以下のような表現をしています。

⚠警告

この注意事項を守らないと、火災・感電、転倒、落下などにより死亡や大けがなどの原因となる重大な事故につながる可能性があります。

⚠注意

この注意事項を守らないと、けがや本製品または周辺の家財の故障や損傷につながる可能性があります。



禁止

してはいけないことを表しています。



必ず守る

必ず守っていただきたいことを表しています。

⚠警告



付属の部品以外は使わない。
→落下などにより、けがの原因となります。

対応モデル以外を取り付けない。
→落下などにより、けがの原因となります。

モニター以外を取り付けない。
→落下などにより、けがや故障の原因となります。

アームに物や体重をかけるなど、過度な負荷をかけない。
→落下などにより、けがや故障の原因となります。

アームをむやみに揺らさない。
→落下などにより、けがの原因となります。



取り付けの際、幼児が近づかないようにする。
→小さな部品の誤飲や、けがの原因となります。

本書の寸法図を確認し、取り付け可能な場所に取り付ける。
→本製品や周囲のものを壊す原因となります。

本書の説明に従って正しく取り付ける。
→誤った取り付け方をすると、けがや故障の原因となります。

本書に指定された工具・道具を使う。
→誤った工具・道具を使うと、故障の原因となります。

ケーブル類がアームに挟まったり、折れ曲がったりしないように注意する。
→感電や故障の原因となります。

⚠注意



掃除や手入れの際に力をかけない。
→故障の原因となります。

機械的振動の多い場所には取り付けない。
→故障の原因となります。

保護シート、保護プレートを使わない。
→机を保護するためのシート、プレートなどを本製品と机の間に入れると、がたつきや落下が起こりやすくなり、故障やけがの原因となります。また、保護シートや保護プレートを使用して本製品を取り付けた場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。



アームを組み立てる際は手袋をする。

→ 指を挟むなど、けがの原因となります。

屋内で使用する。

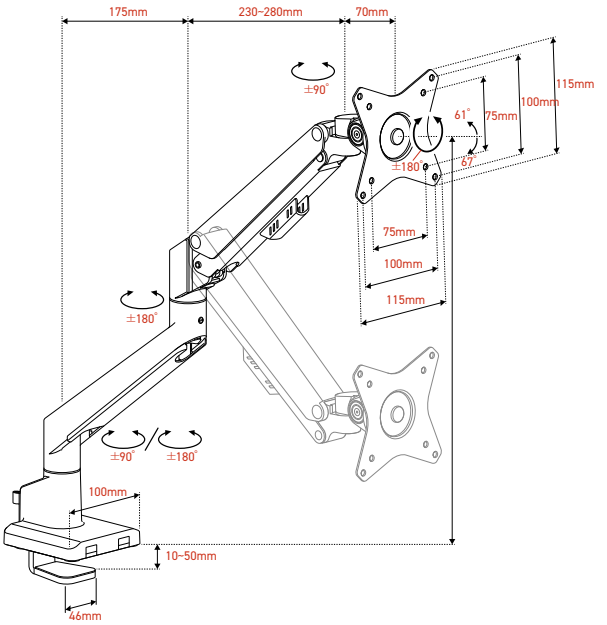
→ 本製品は屋内専用です。屋外で使用された場合は保証の対象外となります。

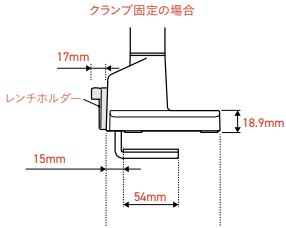
同梱品を確認する。

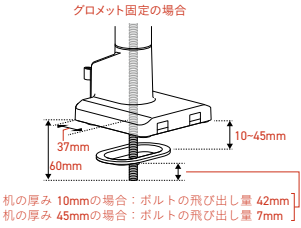
→ 開梱後は必ず同梱品を確認してください。過不足がある場合は販売店にご連絡ください。

設置・取り付け前のご注意

寸法と重量







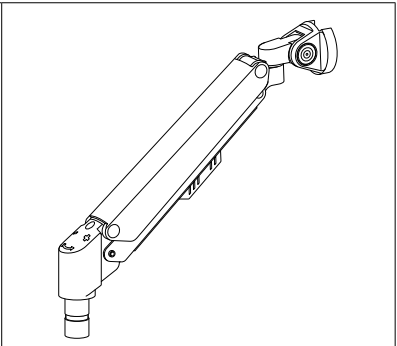
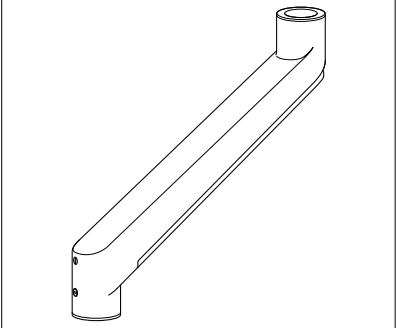
重量：約 2.4 kg

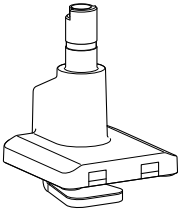
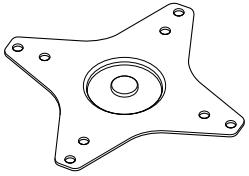
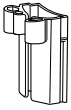
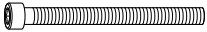
準備する

内容物を確認する

お知らせ

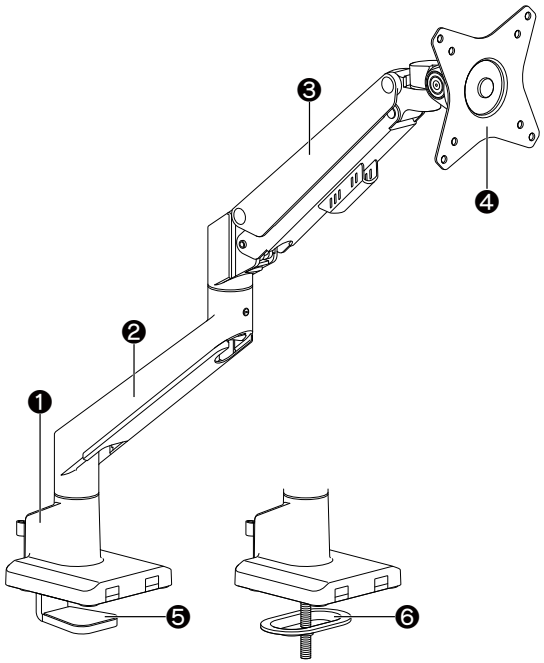
開梱の際、箱を開けた状態を撮影しておくと、返送などのために再梱包する際に便利です。

アーム（上）	
アーム（下）	

ベース& クランプ	
ブラケット	
固定用プレート	
レンチホルダー	
ボルト A	
六角レンチ（小）	
六角レンチ（大）	

組み立てと設置をする

各部の名前（完成図）



❶ ベース
❷ アーム（下）
❸ アーム（上）
❹ ブラケット
❺ クランプ
❻ 固定用プレート

設置、取り付けの手順

本製品の設置、取り付けは以下の手順で行います。

お知らせ

各手順をクリック（タップ）すると、説明ページを表示します。

1 ベースを取り付ける
2 アーム（下）を取り付ける
3 アーム（上）を取り付ける
4 ブラケットをモニターに取り付ける
5 モニターをアーム（上）に取り付ける
6 アーム（上）の強さを確認する
7 アームの可動域を調整する
8 ケーブルをまとめる
9 工具を収納する

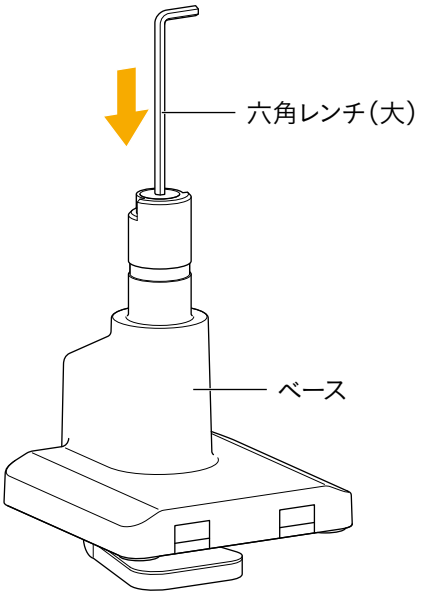
ベースを取り付ける

ご注意

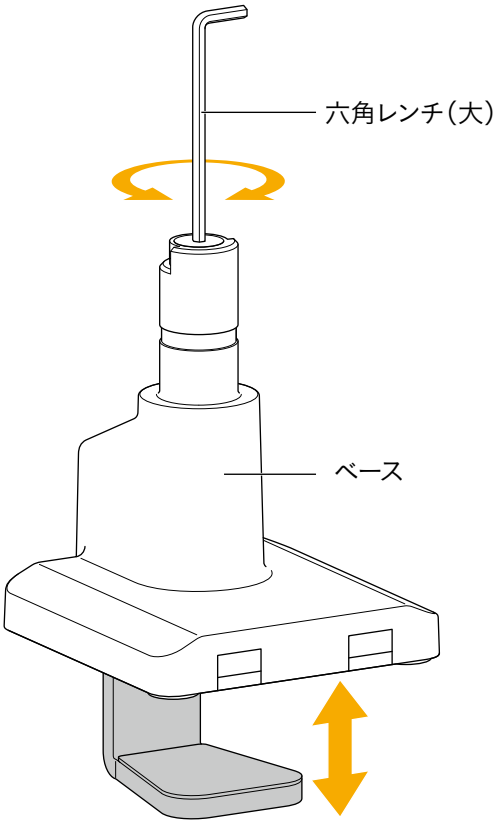
ベースを取り付ける際、ベースと机の天板など取り付け先との間にすき間やがたつきがあると、落下の原因となります。保護シートなどが間に入る場合は特にご注意ください。

基本的な取り付けかた

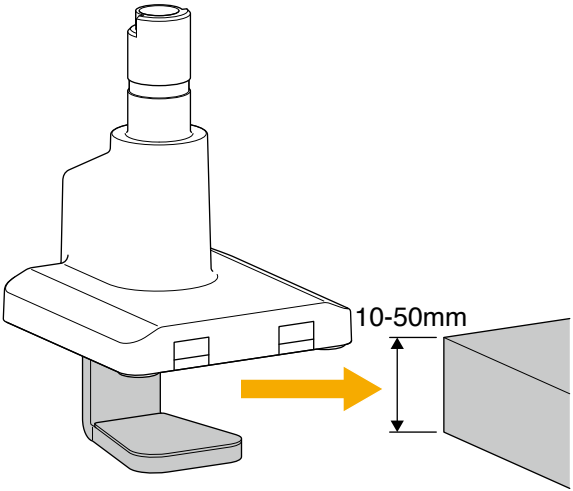
1 六角レンチ（大）をベースの上部から差し入れます。



2 六角レンチ（大）を反時計回りに回し、ベースのクランプを広げます。

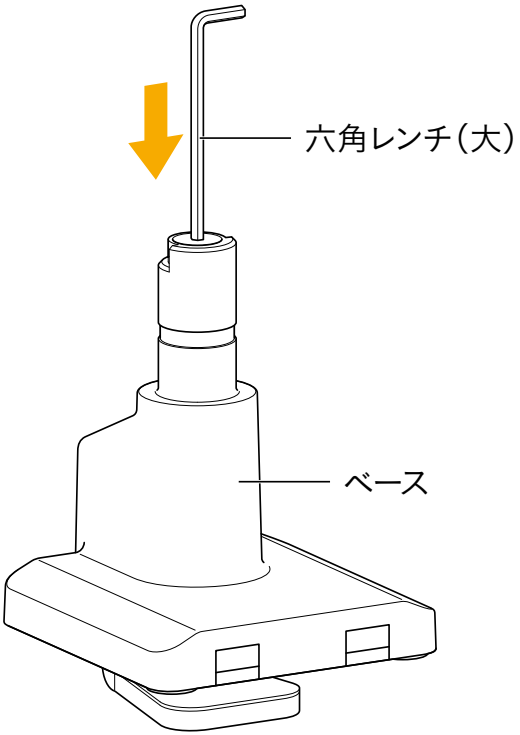


3 本製品を取り付けたい部分（机の天板など）に差し込み、六角レンチを時計回りに回してクランプを締め付けます。

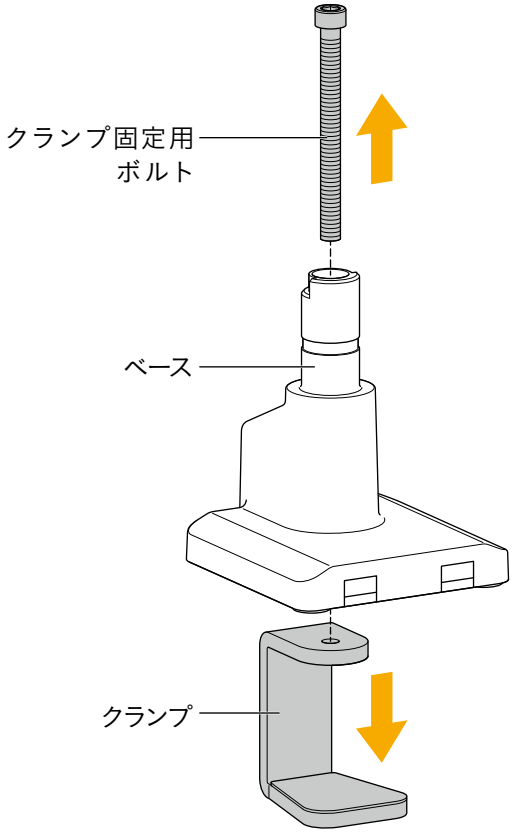


固定用プレートを使った取り付けかた

1 六角レンチ（大）をベースの上部から差し入れます。

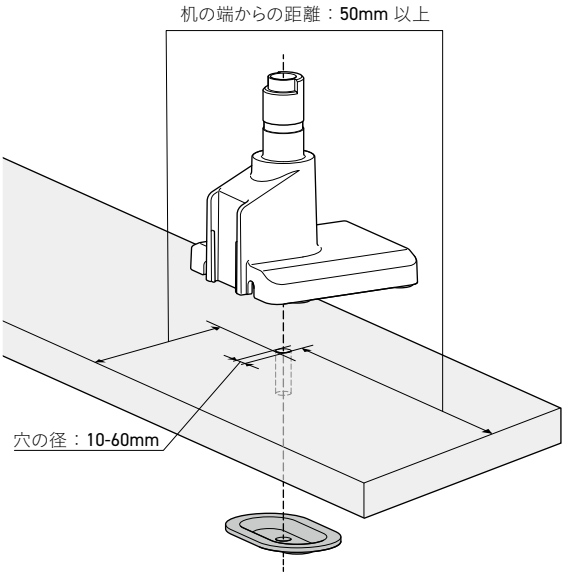


2 六角レンチ（大）を反時計回りに回し、ベースのクランプとクランプ固定用ボルトを取り外します。

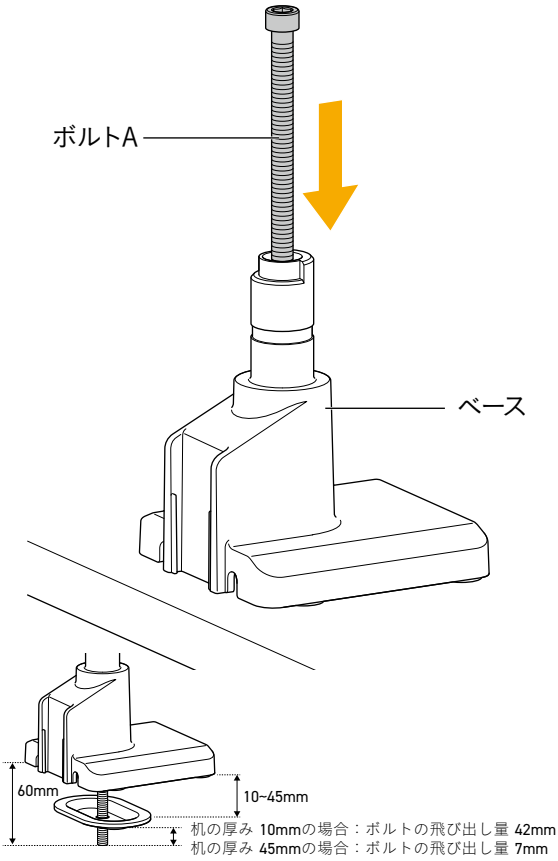


3 本製品を取り付けたい部分（机の天板など）に、直径 10mm ～ 60mm の穴を開けます。

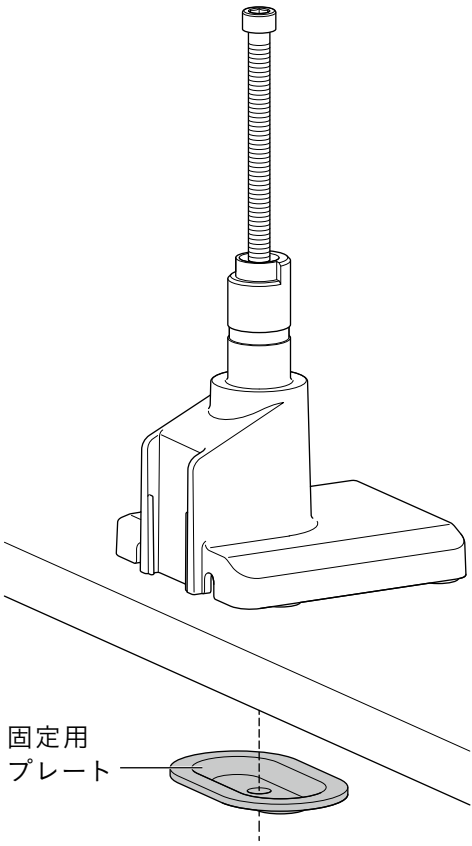
- 穴は天板などの端から 50mm 以上離れた場所に開けてください。
- 上記の条件を満たしていれば、机のケーブル穴などすでに開いている穴を使用することも可能です。



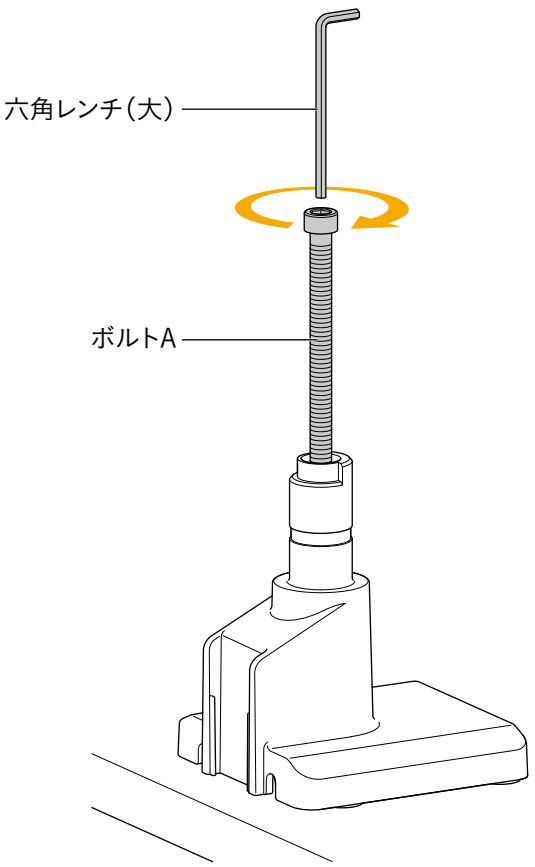
4 上記 3 の手順で開けた穴をボルト A（☞「内容物を確認する」）が通るようにベースを置き、ボルト A を通します。



5 上記 4 の手順で通したボルト A の先に固定用プレートを当てます。

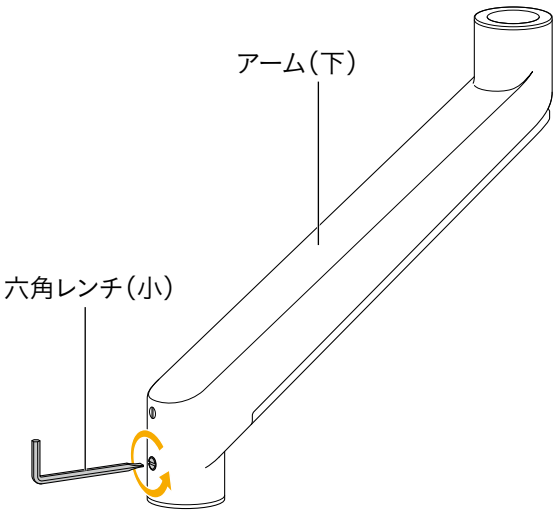


6 六角レンチ（大）を時計回りに回してボルト A を締め付けます。

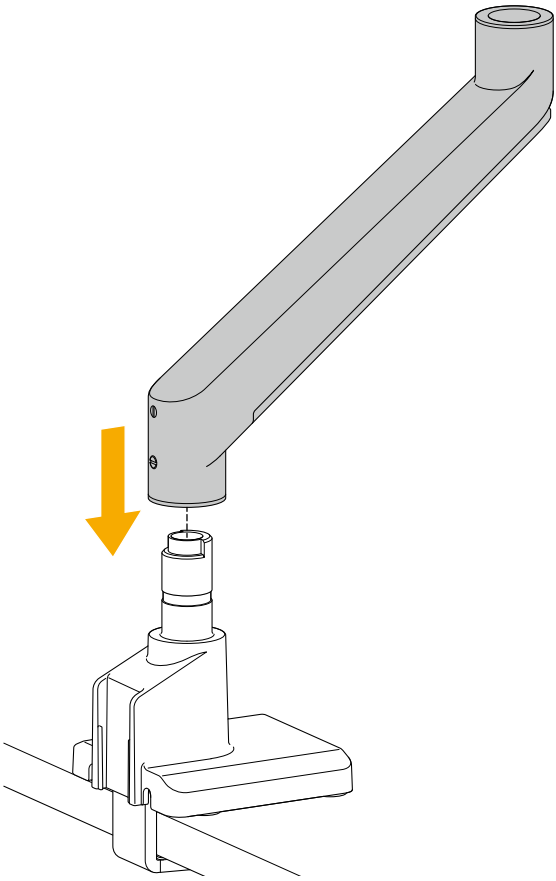


アーム（下）を取り付ける

1 六角レンチ（小）を反時計回りに回し、アーム（下）取り付けねじを緩めます。

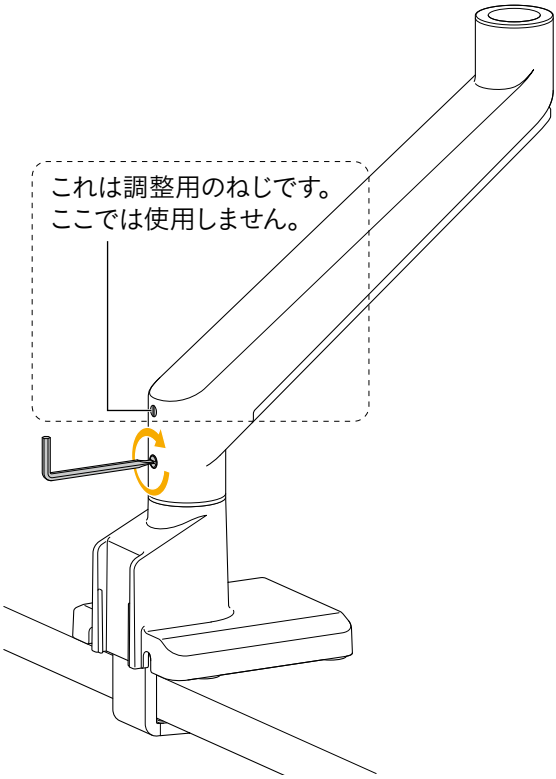


2 アーム（下）をベースに差し込みます。



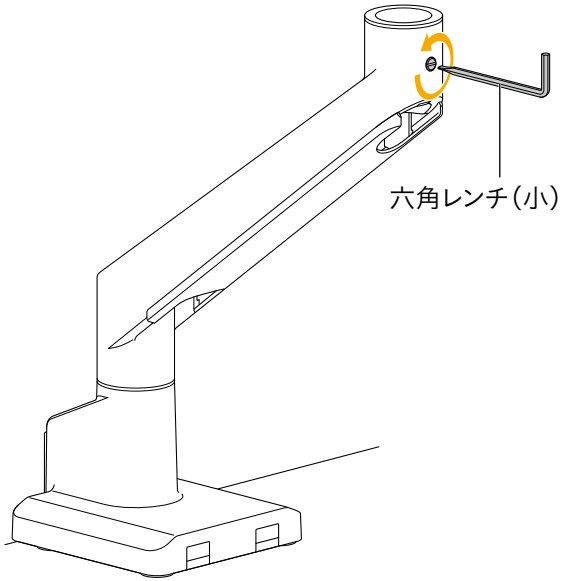
3 六角レンチ（小）を時計回りに回し、アーム（下）取り付けねじを締め付けます。

・アーム（下）が抜けないようにするためのネジです。抜けないことが確認できれば、それ以上強く締めつけ過ぎないようにご注意ください。

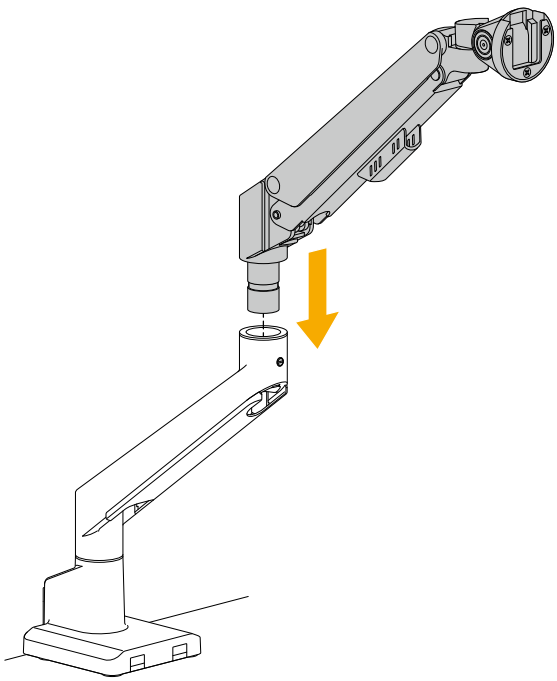


アーム（上）を取り付ける

1 六角レンチ（小）を反時計回りに回し、アーム（上）取り付けねじを緩めます。

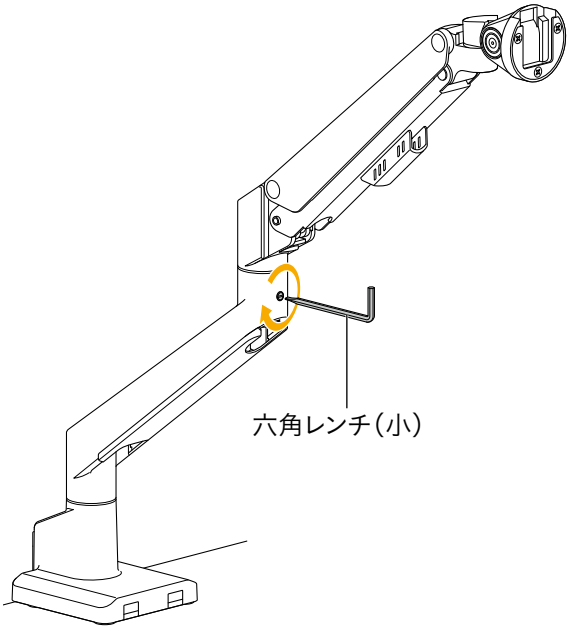


2 アーム（上）をアーム（下）に差し込みます。



3 六角レンチ（小）を時計回りに回し、アーム（上）取り付けねじを締め付けます。

・アーム（上）が抜けないようにするためのネジです。抜けないことが確認できれば、それ以上強く締めつけ過ぎないようにご注意ください。

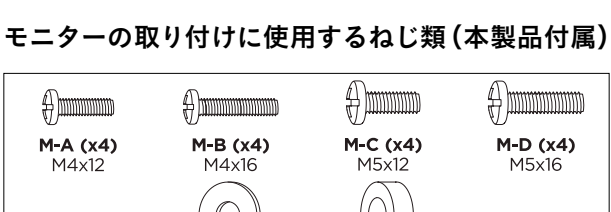


ブラケットをモニターに取り付ける

ご注意

- 取り付け可能なモニターの重量は 9kg までです。それより重いモニターは取り付けないでください。
- 毛布などを下に敷き、モニターを損傷しないようにしてください。
- 必ず指定のねじを使用してください。Pixio のモニターを取り付ける際は、Pixio のモニターに付属のねじ（M4 × 6mm）を使用してください。（☞「モニターの取り付けに使用するねじ類（本製品付属）」）

モニターの取り付けに使用するねじ類（本製品付属）



ご使用の機種によって取り付けに使用するねじ類が異なります。
まずご自分のモニターがどのグループに含まれるかを確認し、適切なパーツを使用して取り付けてください。

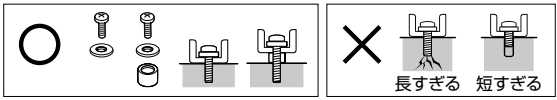
A グループ：M-A, M-E, M-F を使用する機種
PX222, PX243, PX248 Prime, PX248 Prime S,
PX248 Prime Advenced, PXC243S, PX259 Prime,
PX259 Prime S

B グループ：M-B, M-E, M-F を使用する機種
PX248 Pro, PX257 Prime, PX275C Prime, PX277 Pro,
PXC348C

C グループ：M-B, M-E を使用する機種
PX273, PX273 Prime, PX274 Prime, PX277 Prime,
PX278, PX279 Prime, PX273S, PXC277,
PXC277 Advanced, PXC279, PXC325, PXC327,
PXC327 Advanced

D グループ：PX248WAVE, PX278WAVE,
PX32UWAVE など、末尾に WAVE がついた機種

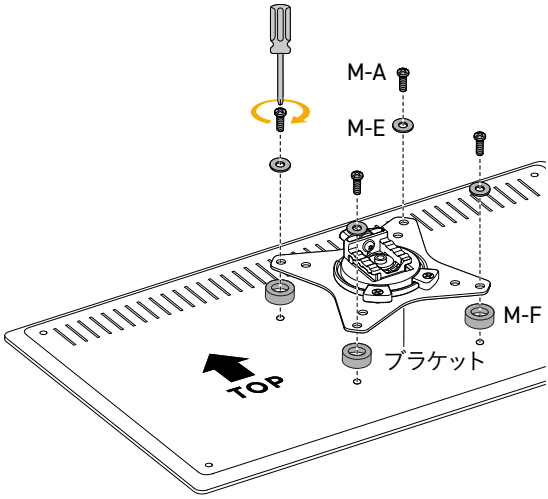
1 ブラケットをモニターの背面に置き、適合するねじ（M-A ～ D）、ワッシャー（M-E）、スペーサー（M-F）を使って取り付けます。



A グループ機種の取り付け方

PX222, PX243, PX248 Prime, PX248 Prime S, PX248 Prime Advenced, PXC243S, PX259 Prime, PX259 Prime S

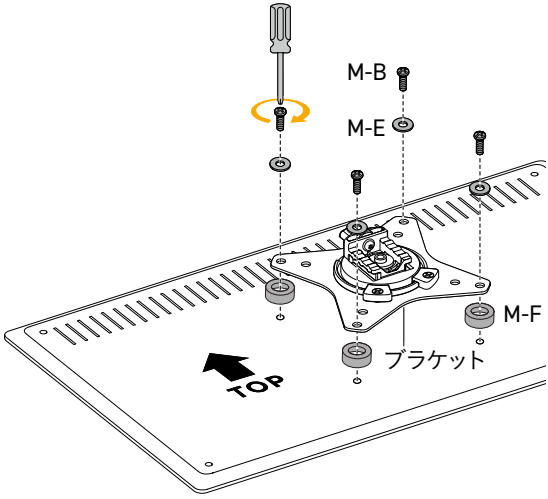
付属の M-A, M-E, M-F を使用して取り付けます。



B グループ機種の取り付け方

PX248 Pro, PX257 Prime, PX275C Prime, PX277 Pro, PXC348C

付属の M-B, M-E, M-F を使用して取り付けます。

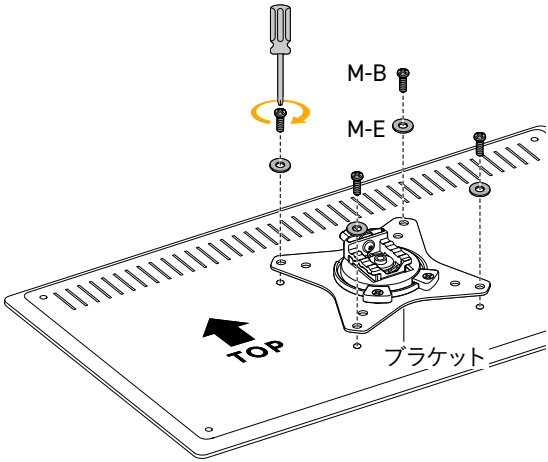


C グループ機種の取り付け方

PX273, PX273 Prime, PX274 Prime, PX277 Prime, PX278, PX279 Prime, PX273S*, PXC277*, PXC277 Advanced*, PXC279*, PXC325, PXC327, 327 Advanced

付属の M-B, M-E を使用して取り付けます。

* のついた機種は、モニターに付属の VESA 取り付けアダプターもあわせてご用意ください。

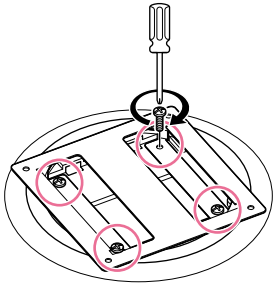


D グループ機種の取り付け方

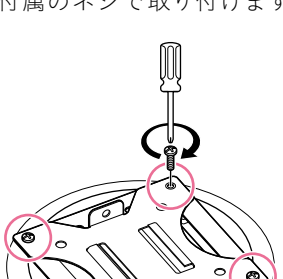
PX248WAVE, PX278WAVE, PX32UWAVE など 末尾に WAVE がついた機種

モニターに付属の VESA 変換アダプターとネジを使用して取り付けます。

①モニター背面のねじ穴と VESA 変換アダプターのねじ穴を合わせて重ね、モニターに付属のネジで取り付けます。下側にある凹凸を合わせてください。



②VESA 変換アダプターのねじ穴に、モニターアームの VESA プレートのねじ穴を合わせて重ね、モニターに付属のネジで取り付けます。



ご注意

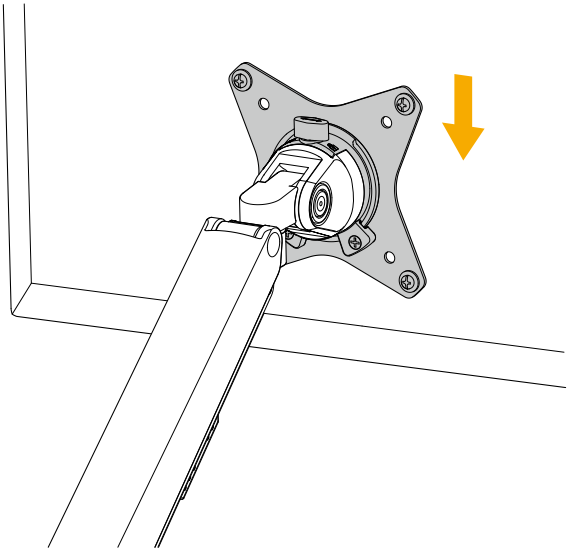
- Pixio 以外のモニターを取り付ける場合は、ねじの長さにご注意ください。ねじが長すぎるとモニターを破損することになり、短すぎると落下の原因となります。
- モニター側に付属のねじがある場合は、そちらをお使いください。

モニターをアーム（上）に取り付ける

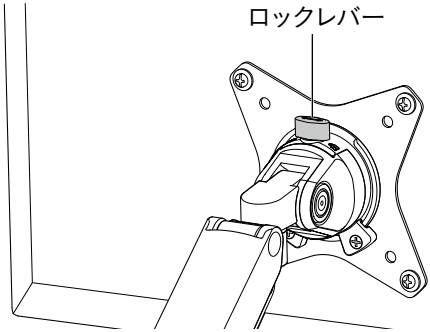
モニターを取り付ける

ブラケットを取り付けたモニターを、アーム（上）に取り付けます。

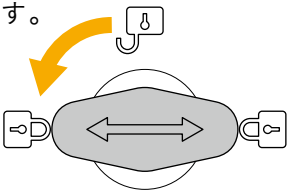
上から差し込むように取り付けてください。



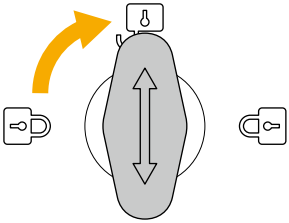
ブラケットをロックする



ロックレバーを回し、アームとブラケットの接続をロックします。



モニターをアームから取り外す際はアンロックしてください。

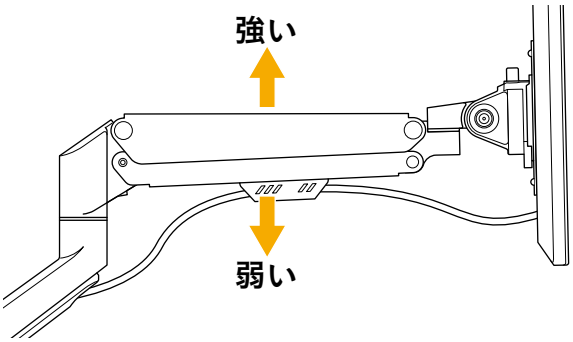


アーム（上）の強さを確認する

本製品は、工場出荷時に Pixio 製 24 インチ及び 27 インチのモニターの重量に合わせて、どの位置でも止まるように上アーム内のバネ力を調整しています。

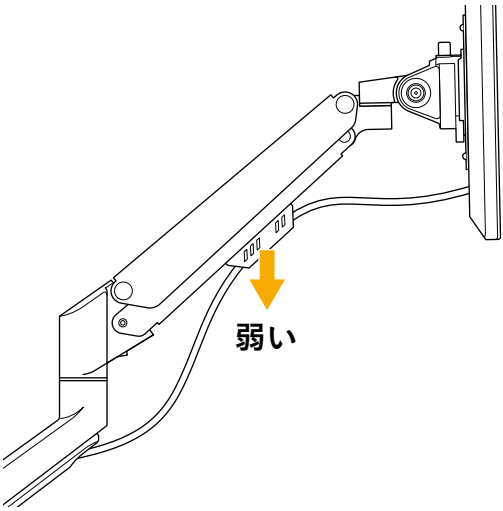
ご使用の機種を取り付けた後、以下の要領でアームのバネ力が適正かどうかご確認ください。ご希望の位置で止まらない場合は、下記の手順で適宜アームのバネ力を調整してください。

1 アーム（上）を水平にして止まるかを確認します。



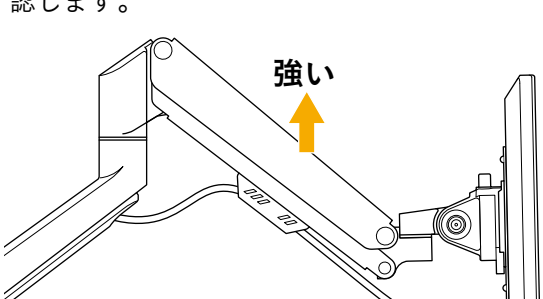
- アームが上がってしまう場合は、バネが強すぎます。
- アームが下がってしまう場合は、バネが弱すぎます。

2 アーム（上）を上にした位置で止まるかを確認します。



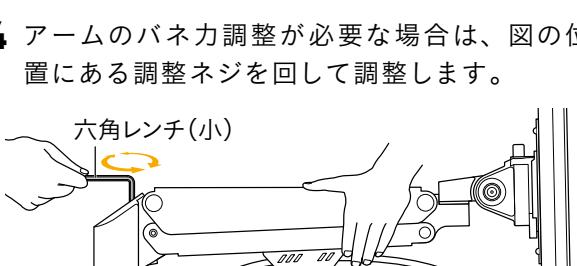
・アームが下がってしまう場合は、バネが弱すぎます。

3 アーム（上）を下にした位置で止まるかを確認します。



・アームが上がってしまう場合は、バネが強すぎます。

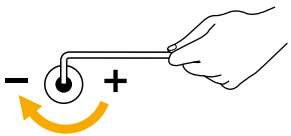
4 アームのバネ力調整が必要な場合は、図の位置にある調整ネジを回して調整します。



（禁止）
ここのねじは絶対に回さないでください。修復できない故障の原因となります。

バネが強すぎる場合

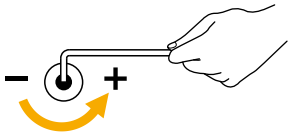
上アームを水平または下に下げ、アームが上がらなくなるまでバネを弱くします。



（時計回りに回す）

バネが弱すぎる場合

上アームを水平または上に上げ、アームが下がらなくなるまでバネを強くします。



（反時計回りに回す）

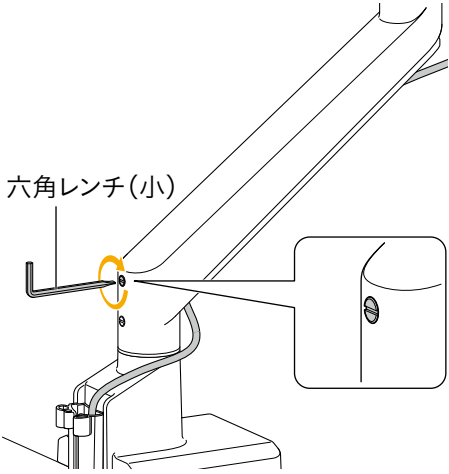
アームの可動域を調整する

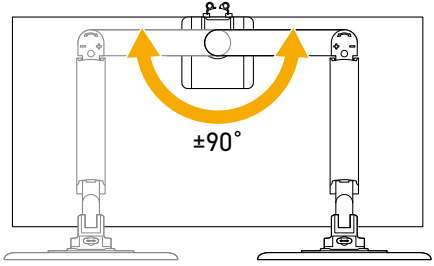
アームが周りの物に干渉しないように可動域を変更します。

組み立てと設置をする（つづき）

六角レンチ（小）を時計回りに回してリミッターネジを締め、アーム（下）からネジが突出していない状態にすると、アームの可動範囲は 180 度に限定されます。

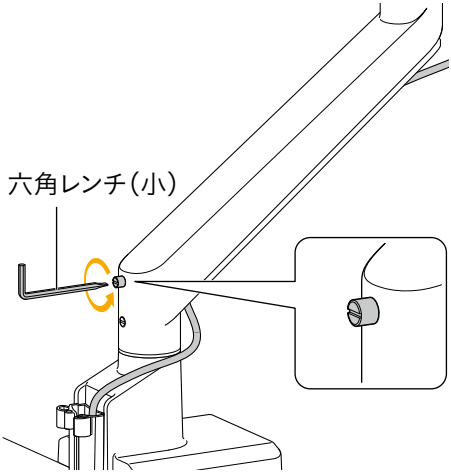
ベースの背面が壁などの場合はこちらの設定にしてください。

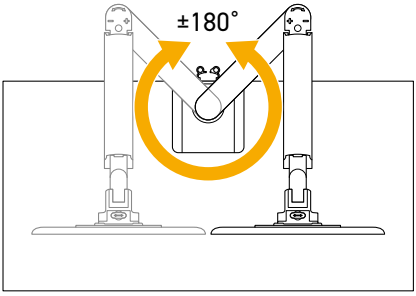




組み立てと設置をする（つづき）

六角レンチ（小）を反時計回りに回してリミッターネジを緩め、アーム（下）からネジが突出した状態にすると、アームの可動範囲の限定はなくなり、360 度回転するようになります。

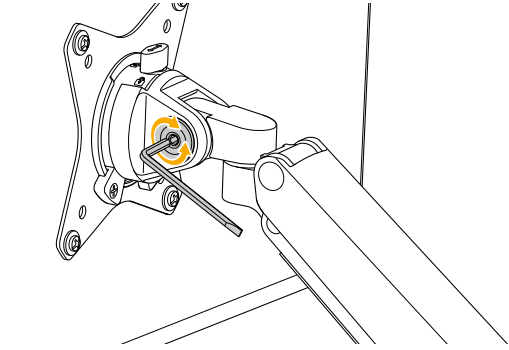


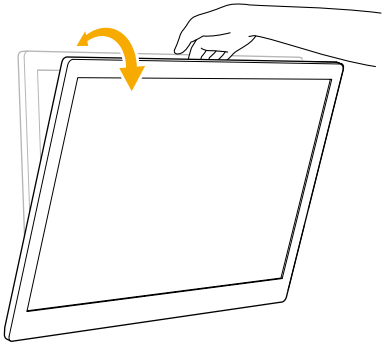


アームの動きの固さを調整する

モニターの縦の首振りの固さを調整する場合は、首振り調整ねじ（縦）を調整します。

六角レンチ（小）を使い、緩める場合は反時計回り、締める場合は時計回りに回してください。





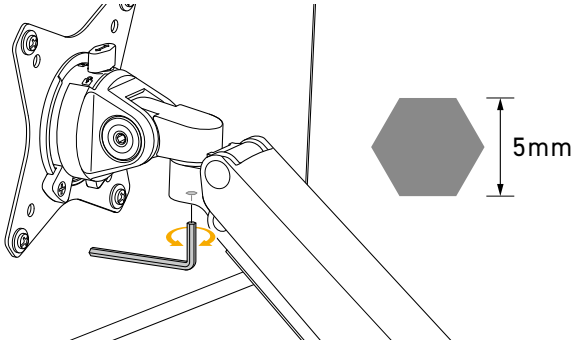
ご注意

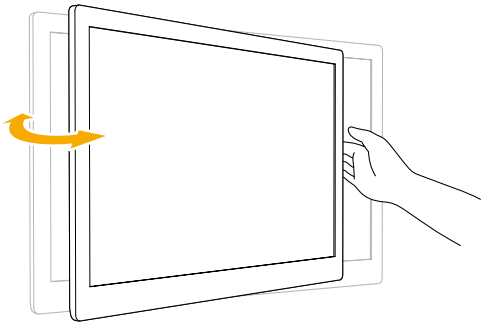
液晶パネルには触れないようにしてください。

組み立てと設置をする（つづき）

モニターの横方向の首振りの固さを調整したい場合は、首振り調整ねじ（横）で調整が可能です。

市販の六角レンチ（対辺 5mm）を用意し、緩める場合は反時計回りに、締める場合は時計回りに回してください。





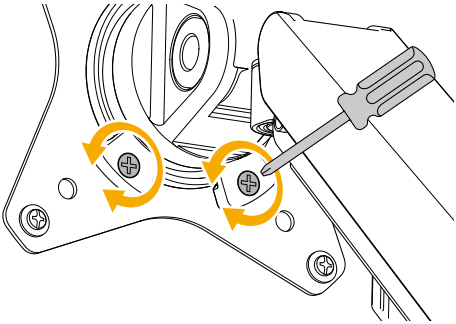
ご注意

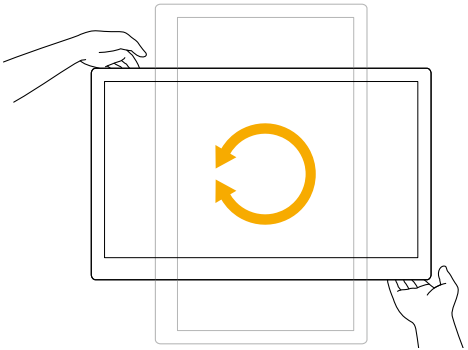
液晶パネルには触れないようにしてください。

組み立てと設置をする（つづき）

モニターの回転の固さを調整するには、回転調整ねじを（2 か所）を調整します。

市販のプラスドライバーを使い、緩める場合は反時計回り、締める場合は時計回りに回してください。





ご注意

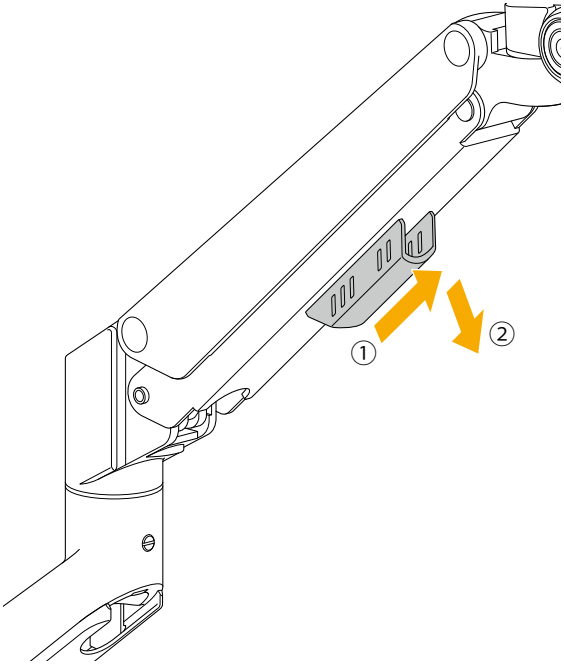
液晶パネルには触れないようにしてください。

ケーブルをまとめる

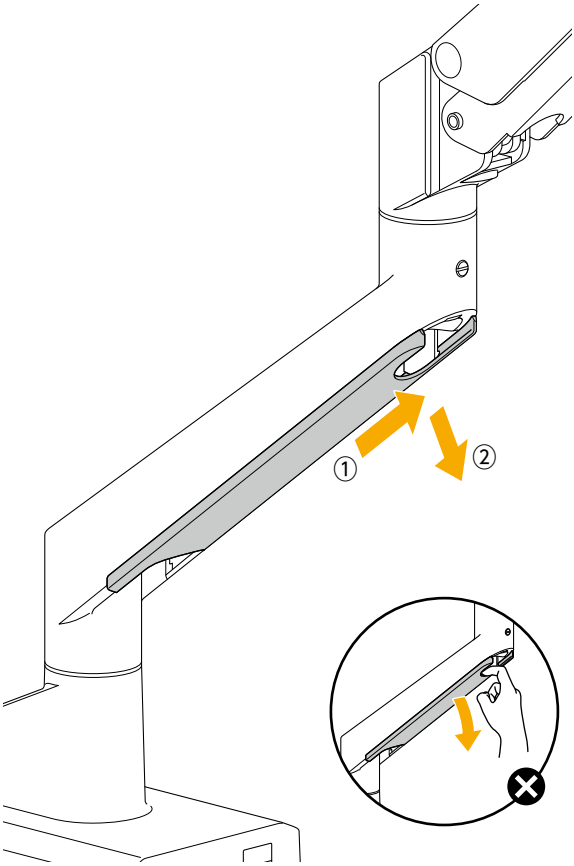
ご注意

- ケーブルは折れ曲がらないようにまとめてください。
- ケーブルの長さが不十分な場合、角度調整の際などに接続が外れてしまうことがあります。少したわみがある程度の長さのケーブルを使用してください。

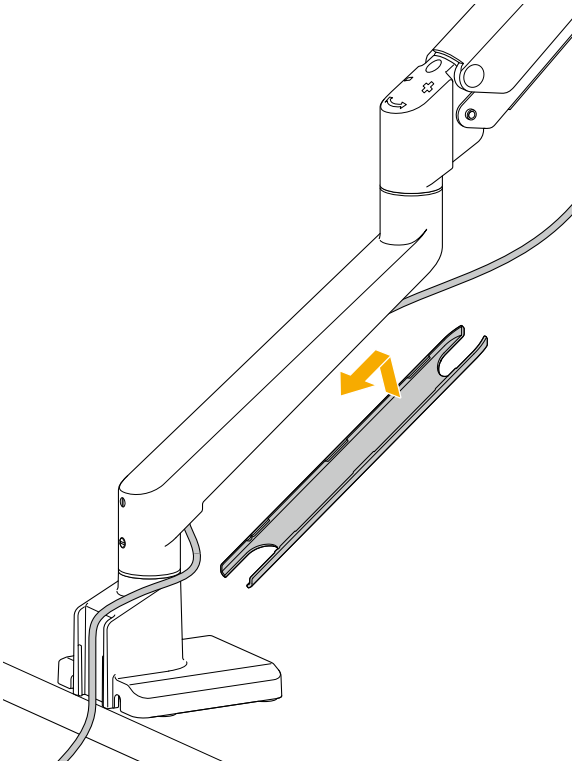
1 アーム（上）のケーブルカバーを外します。



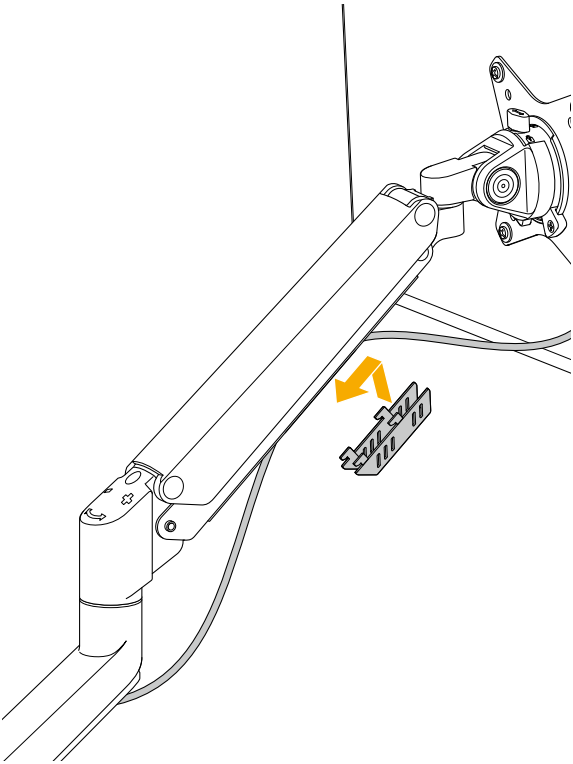
2 アーム（下）のケーブルカバーを外します。



3 アーム（下）の下面にケーブルを通し、カバーを取り付けます。

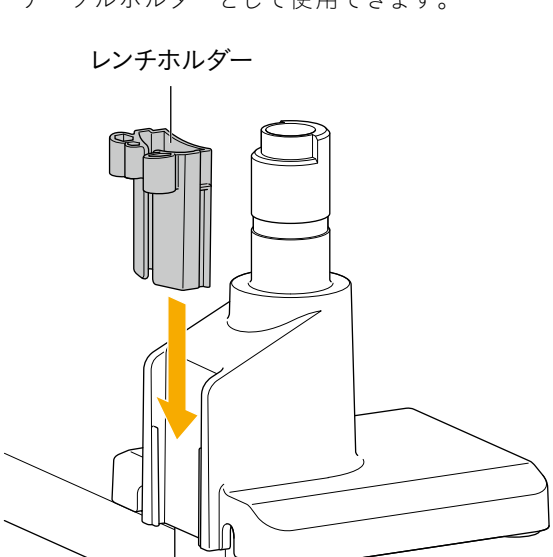


4 アーム（上）の下面にケーブルを通し、カバーを取り付けます。



5 レンチホルダーをはめ込みます。

レンチホルダーは、同梱の六角レンチの収納およびケーブルホルダーとして使用できます。

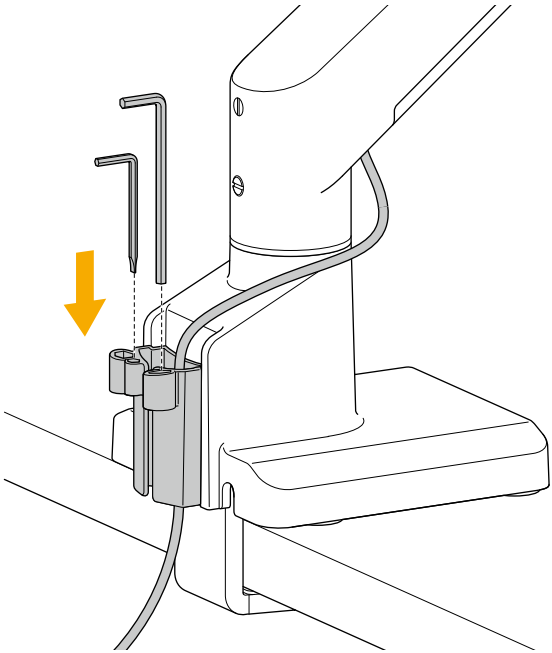


ケーブルをまとめたら

アームをいろいろな位置に動かし、モニターに接続しているケーブル、コードおよび入力端子に無理な力がかかったりしていないか、抜けたりしないか、ご確認ください。

工具を収納する

組み立て・設置が終わったら、六角レンチ（大）・六角レンチ（小）をレンチホルダーに収納してください。



困ったときは

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
モニターの位置がうまく決まらない。	モニターが下がる。	アーム（上）のバネを強くしてください。（☞「バネが弱すぎる場合」）
	モニターが上がる。	アーム（上）のバネを弱くしてください。（☞「バネが強すぎる場合」）
	モニターの縦・横の首振りや回転が適切でない。	アームの動きの固さを調整してください。（☞「アームの動きの固さを調整する」）

症状	原因	対策
ブラケットのねじが締まらない。	ネジの長さが適切でない。	適切な長さのねじを使用してください。（☞「モニターの取り付けに使用するねじ類（本製品付属）」）
	スペーサーなどの使用が適切でない。	スペーサーなどを使ってブラケットを適切に取り付けてください。（☞____）
ベースががたつく。	クランプと天板などの間に異物がある。	異物を取り除いてください。

お手入れについて

- お手入れ・保管の際は、必ずモニターの電源コードと映像ケーブルを抜いてください。
- 本製品が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、水で濡らして固くしぼったスポンジややわらかい布でふき取り、その後乾いた布で乾拭きしてください。
- 定期的に乾いた布で汚れやほこりを拭き取ってください。
- 長期間保管される場合は、汚れやほこりが付着しないよう、カバーなどをかけて保管してください。
- 本製品を廃棄される際は、お住まいの地方自治体の廃棄区分に従い、廃棄してください。

製品に不具合と思われる症状が発生した場合、弊社製品保証規定に則って対応いたします。
以下の手順にて申請をお願いいたします。

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は、お買い求めになった販売店にご連絡ください。

保証申請の前に

「故障かなと思ったら」をご確認ください。

URL:
https://faq.pixiogaming.jp/hamee-pixio-faq-6719eae59fcf7bb5f426c689

保証申請をする

それでも症状が改善されない場合は電源コードを外し、保証申請フォームからご連絡ください。

URL:
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSePErIBX8SQm5MrRwDNR88SFmUwupAI63O3-1OL1aTdTqlang/viewform

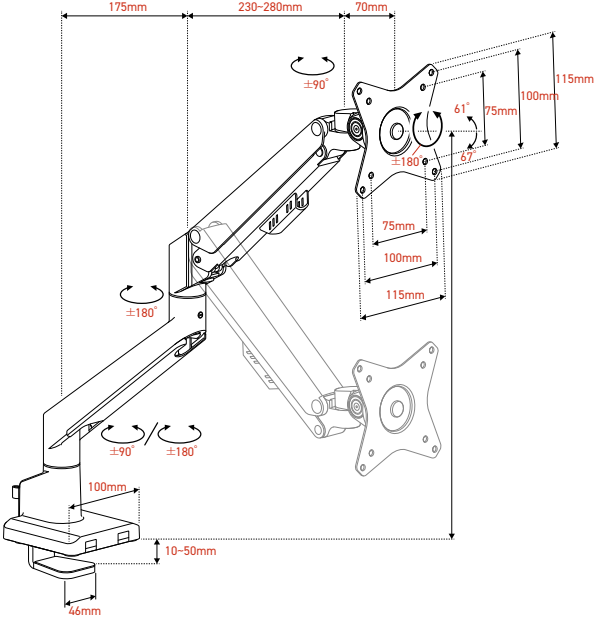
保証期間後の修理など

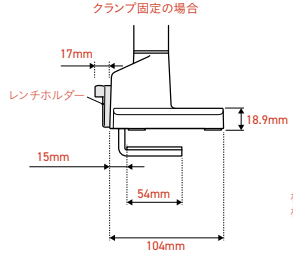
有償にて、症状に応じた修理や交換などの対応をさせていただきます。
詳しくは、下記にアクセスしていただき、「有償修理を申し込む」の項目をご確認ください。

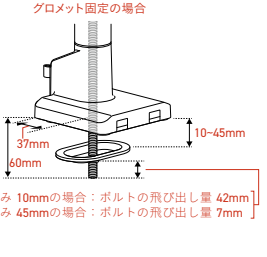
URL:
https://faq.pixiogaming.jp/hamee-pixio-faq-6719eae59fcf7bb5f426c689

仕様

寸法：


175mm
230~280mm
70mm
±90°
115mm
100mm
75mm
61°
67°
±180°
75mm
100mm
115mm
±180°
±90°
±180°
100mm
10~50mm
46mm


クランプ固定の場合
17mm
レンチホルダー
18.9mm
15mm
54mm
104mm


グロメット固定の場合
10~45mm
37mm
60mm
机の厚み 10mmの場合：ボルトの飛び出し量 42mm
机の厚み 45mmの場合：ボルトの飛び出し量 7mm

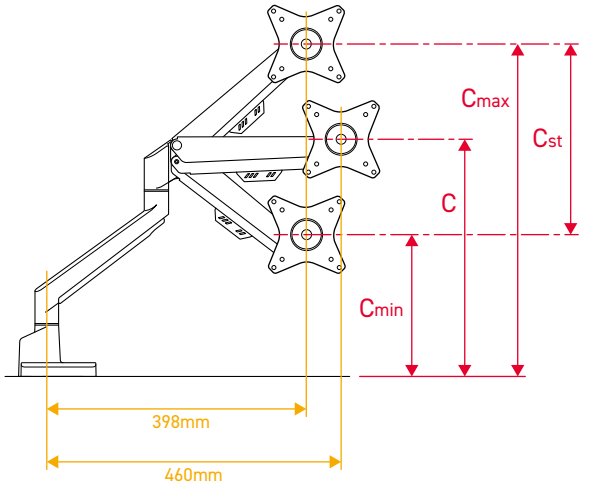
仕様（つづき）

重量：2.4 kg
耐荷重：1~9 kg

※ 製品の仕様およびそのデザインは性能・機能向上のため予告なく変更する場合があります。

参考資料

本製品の可動範囲

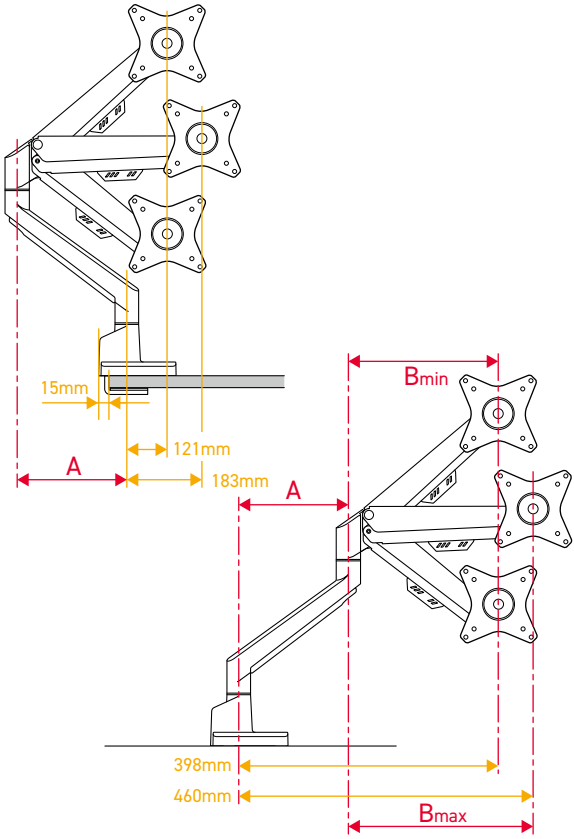


Cmax=495mm

Cmin=215mm

Cst=280mm

C=355mm



A=175mm

Bmin=230mm

Bmax=280mm

お問い合わせ先：
https://faq.pixiogaming.jp/support

輸入販売元：
Hamee 株式会社
〒 250-0011
神奈川県小田原市栄町 2-12-10 Square O2
https://hamee.co.jp/

更新日：2025/12/15